

## 《SSWのひびき》 理解を助ける視覚化・構造化

私たちは何かを考えると、イメージしたことを頭のスクリーンに絵で写して考えます。子どもも言葉だけでは分かりにくいことがありますから、内容をイメージしやすいよう視覚化して、見てわかるようにすれば理解を助けます。

信号、標識、案内板、車線表示、駐車場、トイレの男女表示、非常口、禁煙場所など、見ただけで何なのか分かる表示物を私たちは身近に利用しています。

カレンダー、スケジュール帳、図書館の開架、レシピなど、全体と部分の両方が構造化されていてわかりやすいものもあります。

「あれ」「そこ」「ちゃんと」

津野町教育委員会  
SSW(スラッシュワーカー)久寿義人

【相談室】  
かわうそ図書館2階

(B&G海洋センターでも相談可能)

火・金曜の午前9時30分～午後4時30分

TEL 0880-86365-3372

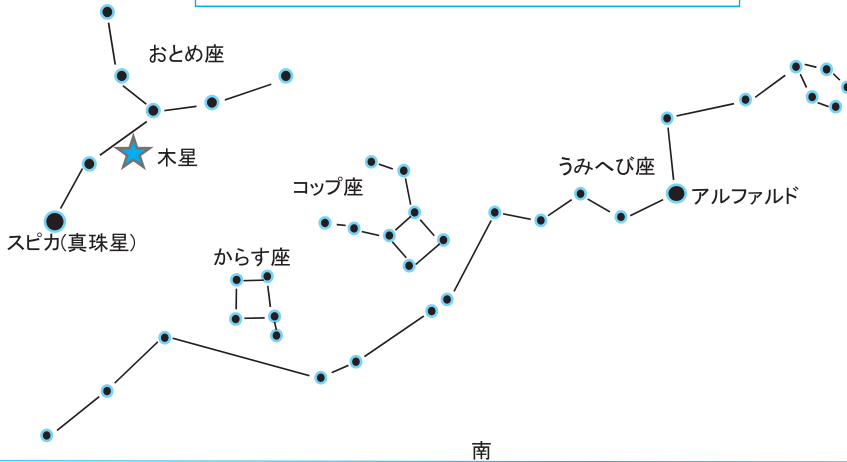


とかの抽象的な言葉、時間や空間など目に見えないことなどを理解するのが少し苦手とか、全体の意味を把握する時も多い細かい部分に強く注目したり、必要な情報とそうでない情報の区別がよく出来なかつたり、いくつかの情報を関係付けて見ることが難しいことがあります。また、順序立てて考えたり、計画を立てたり、物事の優先順位を付けるなどして見通しを立てることがうまく出来ないこともあります。

視覚的手がかりを使うとコミュニケーションがしやすく、視覚化と構造化は私たちにとってなくてはならないものです。

## 天狗高原 星空だより

### 本年5月1日午後8時ごろ 天狗高原での星空



5月に入り、天狗高原でも新緑が美しい時期となりました。

さて、夜空の星座はいくつあるかご存知ですか。正解は88です。ちなみに、この時期に88ある星座のうち一番大きな星座を見ることができます。

「うみへび座」をご存知ですか。この星座は、西側にへびの頭、東側に尻尾とさかれています。西の頭の方は、冬の星座である「こいぬ座」付近から、東の尻尾は、夏の星座である「てんびん座」付近まで、夜空の広さ180度のうち100度もあり、その名のごとく、とても長い星座となっています。星座を構成する星々はほぼ3等星以下のそれほど明るくない星々ですが、ちょうど、うみへびの心臓にあたる部分に橙色に光る2等星「アルファルド」があります。全体的にぱっとしない星座のようですが、周りに明るい星が少ないため、意外に簡単に見つけられます。

春は冬のオリオン座や夏のさそり座など、分かりやすく派手な星座は少ないですが、最近ではスマートフォンでも空に向ければ星の名前と星座の形を表示してくれるアプリもありますので、星座早見盤よりは簡単に見つけられます。天狗高原は360度の大パノラマです。スマホのアプリや星座早見盤を片手に星座をたくさん見つけてみませんか。(天狗荘)